



福井しあわせ元気国体が開幕！！ 会期前競技(9月9日～17日) 結果速報

[本大会は9月29日総合開会式～10月9日]

平成30年9月9日(日)から17日(月)まで、第73回国民体育大会福井しあわせ元気国体会期前実施競技(水泳・バレーボール・ハンドボール・クレー射撃競技)が開催されました。

和歌山県選手団は、水泳競技において19点、クレー射撃競技において18点、参加得点60点を合わせて97点を獲得し、天皇杯38位となっています。

入賞おめでとうございます！！

- 水泳競技【オープンウォータースイミング】
成年男子 南出大伸選手(日本体育大学4年) 2位(7点)
- 水泳競技【飛込】
成年男子 飛板飛込 安永元樹選手(海南高等学校(教)) 6位(3点)
高飛込 安永元樹選手(同上) 6位(3点)
- 水泳競技【競泳】
少年男子A 自由形400m 宮本竜成選手(和歌山工業高等学校3年) 6位(3点)
少年女子A 背泳ぎ200m 山崎光選手(和歌山北高等学校3年) 7位(2点)
成年女子 自由形50m 住岡叶夢選手(筑波大学2年) 8位(1点)
- クレー射撃競技
トラップ 竹中利明選手(和歌山県立自然博物館) 3位(18点)
楠本晃大選手(有限会社喜久屋電設)
亀井康志選手(カメイスチール)

第73回国民体育大会(福井しあわせ元気国体)

和歌山県選手団 高橋総監督 談話

会期前競技(水泳競技・ハンドボール競技・クレー射撃競技)に出場された選手、指導者の皆様お疲れ様でした。クレー射撃競技は、トラップ種別での48年ぶりの入賞、水泳競技の南出選手の上位入賞、安永選手の2種目での入賞など、合計97点を獲得することができ、これから始まる本大会に向けて弾みをつけていただきました。目標の天皇杯10位台に向けて、本国体でも選手・指導者の活躍を大いに期待しております。

「がんばれ！チーム和歌山！」



選手・監督からのコメント

○吉田儀人監督（オープンウォータースイミング）1位を狙っていたので、2位という結果は少し残念です。中盤の駆け引きのところがうまくいかなかったので、その辺りが今後の課題です。ただ、和歌山県選手最初の種目で2位に入賞できたので、チーム和歌山に勢いがつけばうれしいです。

○南出大伸選手（オープンウォータースイミング）2位に終わり悔しいです。最後、差し切れるかと思いましたが、及びませんでした。序盤で2人が抜け出したので、もう1人の選手と駆け引きをしながら泳ぎましたが、少しうまくいきませんでした。しかし、国体で初めて表彰台に立てたのでうれしい気持ちもあります。今後、大きな大会で優勝できるようさらに頑張ります。

○段木雅博監督（飛込）最後まで崩れることなく集中力を持続できたことが勝因だと思います。また、ミスを最小限に抑え、全体をまとめることができたことも良かったです。2種目入賞できて良かったです。応援ありがとうございました。

○安永元樹選手（飛込）入賞できると思っていませでしたが、攻めることに集中できたことが入賞に繋がったと思います。練習をたくさん出来ませんでした。できることを確実にやるよう心がけリラックスして思い切り飛び込むことができました。高飛込でも序盤で失敗もありましたが、気持ちを切り替えて飛び込むことができました。2日間を通して集中して競技することができました。応援ありがとうございました。

○山本喜一郎女子監督（競泳）山崎選手は、ジュニアパンパシフィック選手権に出場し、国際大会を経験したことで成長することができました。来年は成年種別で入賞を目指して頑張りたいです。住岡選手は、筑波大学に進学後大きく成長し、日本選手権等でも入賞していました。順位と記録は悔しい気持ちがあるようですが、来年に期待したいと思います。山崎選手も住岡選手も国体で入賞して和歌山県に貢献したいという思いが強かったので入賞できて良かったです。応援ありがとうございました。

○山崎光選手（競泳）中3から国体に出場していて、少年種別最後の高3で初めて決勝に残れて良かったです。50m、100mの方が得意で200mは得意ではありませんが、これから上を目指して戦っていくために200mを上げていくことを課題に頑張ります。

○住岡叶夢選手（競泳）たくさんの応援のお陰で50m自由形で8位に入賞することが出来ました。結果としては満足していませんが、今以上の結果を報告出来るようこれからも頑張ります。応援ありがとうございました。

○楠本一彦男子監督（競泳）宮本選手は、最終学年で和歌山県のために何が何でも結果を残そうと緊張感のある中、良く頑張ったと思います。結果は6位でしたが、次に繋がるレースが出来たと思います。たくさんの方々の応援ありがとうございました。

○宮本竜成選手（競泳）この種目では、何度か決勝に残っていたので特に思い入れがありました。少年種別最後の年に6位に入賞し和歌山県に貢献できてとても嬉しかったです。来年からはレベルの高い成年種別の中でも結果が残せるようにこれからも頑張っていきたいです。

○竹中利明選手兼監督（クレール射撃）大きなミスもなく想定していた戦いができました。各選手がいつも通りの力を出せば入賞はできると思っていたが3位になれるとは思っていなかったのが嬉しいです。来年はもっと上の順位を目指して頑張ります。

